

九州のビジネス・投資環境の魅力

2024年3月12日
九州経済産業局
国際部長
藤原 晋一

対日投資先としての九州の魅力

- ◆ 九州は日本の南西部に位置し、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島県の7県で構成されています。
- ◆ 古来より、海外との交流拠点としての役割を担ってきた地域であり、現在、様々な産業が集積しています。
- ◆ 整ったビジネス・生活環境、魅力的な自然・文化・食など、投資先として大きな魅力を備えています。



1 アジアのゲートウェイ・九州

2 一国並みの経済規模、充実したインフラ

3 自動車関連産業の集積

4 半導体関連産業の集積

5 環境リサイクル・再エネ関連産業の集積

6 ヘルスケア・バイオ・コスメ関連産業の集積

7 スタートアップ企業の育成支援

8 最先端を誇る大学・研究機関

9 整ったビジネス・生活環境

10 魅力的な自然・文化・食

アジアのゲートウェイ・九州

- ◆ 九州～ソウル・上海・東京は、ほぼ同じ距離に位置しており、九州は、地理的に日本にとって「アジアの玄関口（ゲートウェイ）」にあります。古来より、長崎の平戸・出島のように海外との交流拠点としての役割を担ってきています。
- ◆ 福岡空港の乗降客数（国内線＋国際線）は、1,482万人（*）と、全国の空港中3位、福岡国際空港から福岡市都心部までのアクセス時間はわずか10分と、世界トップクラスの交通の利便性を誇ります。

* 出所:国土交通省「令和4年(暦年)空港別順位表」

アジア各国へのアクセスの利便性

	福岡	東京 (成田)
空港～都心部	10分	50分
釜山(韓国)	50分	2時間30分
ソウル(韓国)	1時間20分	2時間30分
上海(中国)	2時間00分	3時間10分
台北(台湾)	2時間35分	4時間05分
香港	3時間55分	5時間15分
ホーチミン (ベトナム)	5時間40分	6時間35分
バンコク(タイ)	5時間45分	7時間00分
シンガポール	6時間35分	7時間30分

出所:JTBパブリッシング「JTB時刻表」(2023年11月)

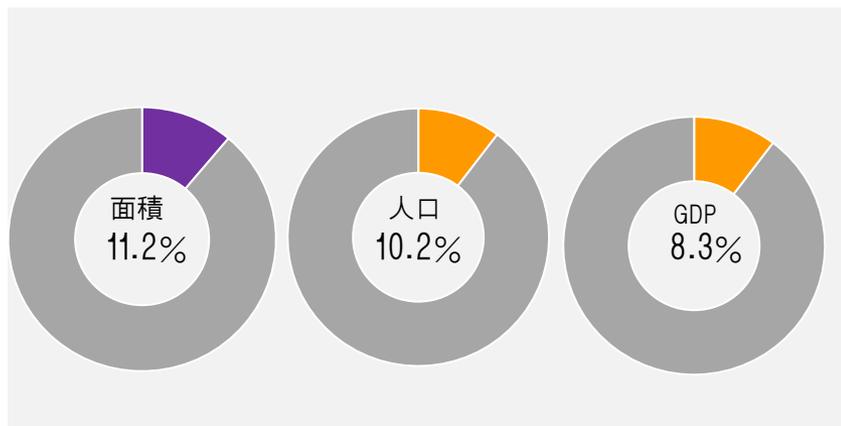
福岡と国内・アジア主要都市との距離



一国並みの経済規模

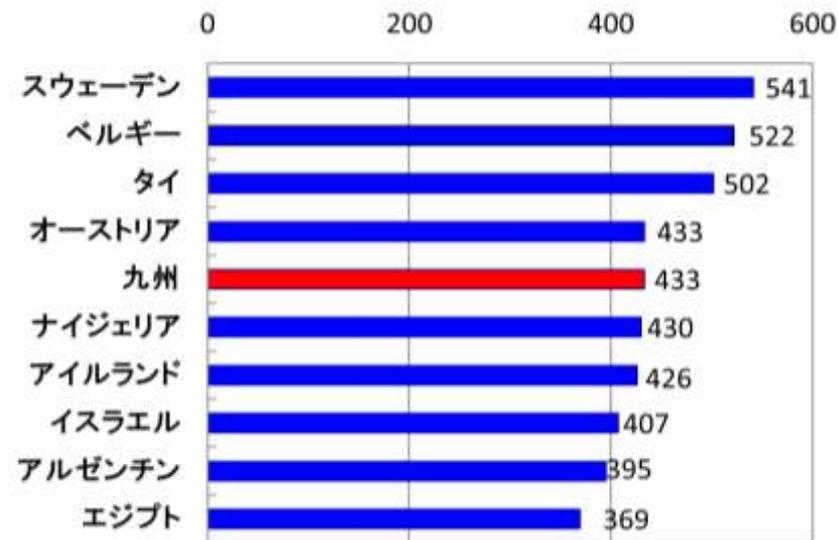
- ◆ 九州の人口は1,274万人で(全国シェア10.2%)、面積やGDPも全国の約10%を占めており、「1割経済」と呼ばれています。
- ◆ 九州の域内生産額は、約43兆円、世界27位のオーストリアと同等の経済規模です。広い土地、清廉な水、豊富な労働力を背景に、半導体関連産業、自動車産業、農林水産業が主要産業です。

全国に占める九州の面積・人口・GDP



出所：面積 国土交通省「令和4年全国都道府県市区町村別面積調」
 ：人口 総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」
 令和5年1月1日現在
 ：GDP 内閣府「令和2年度県民経済計算」より九州経済産業局作成

域内総生産の国際比較 (単位:10億米ドル)



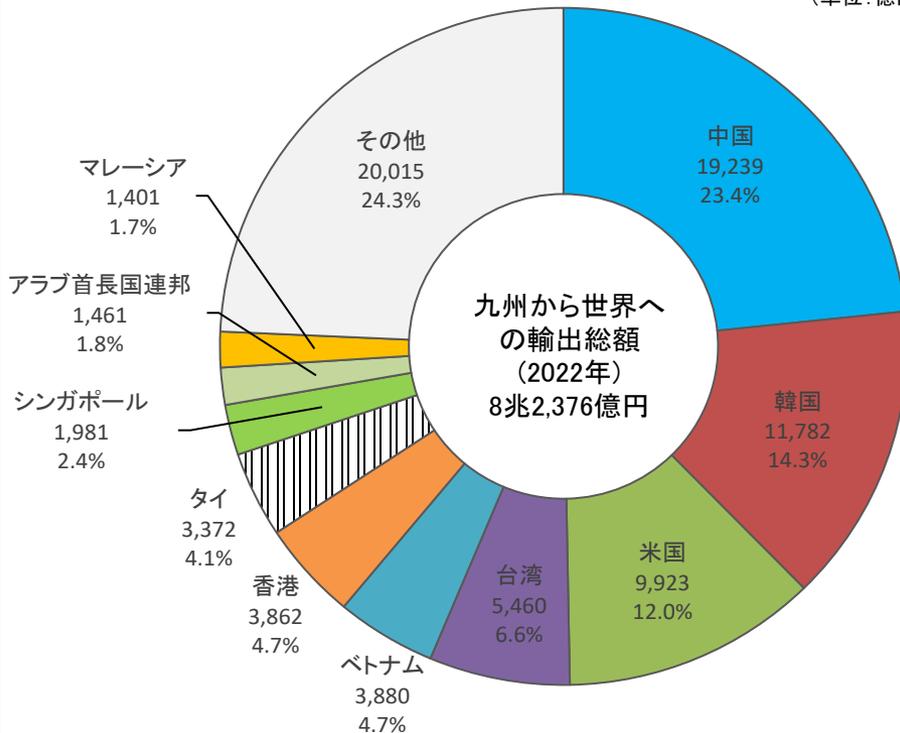
出所:総務省「世界の統計2021」、内閣府「令和2年度県民経済計算」より九州経済産業局作成

主な貿易相手国・地域

- ◆ 九州の最大の輸出相手国は中国で23.4%、輸入相手国ではオーストラリアが16.7%を占めています。
- ◆ 輸出では中国に次いで、韓国、米国、台湾の順であり、輸送用機器や原材料別製品、電気機械などの九州からの輸入国が上位となっています。輸入ではオーストラリア、中国、アラブ首長国連邦の順であり、鉱物性燃料や原料品、電気機器などの九州への輸出国が上位となっています。

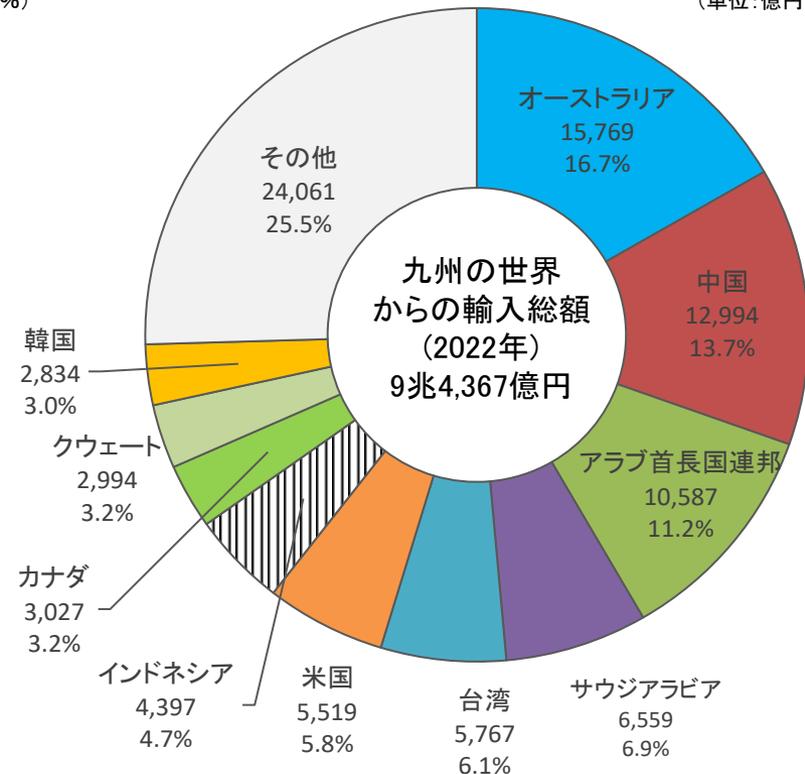
九州の輸出相手国・地域

(単位: 億円、%)



九州の輸入相手国・地域

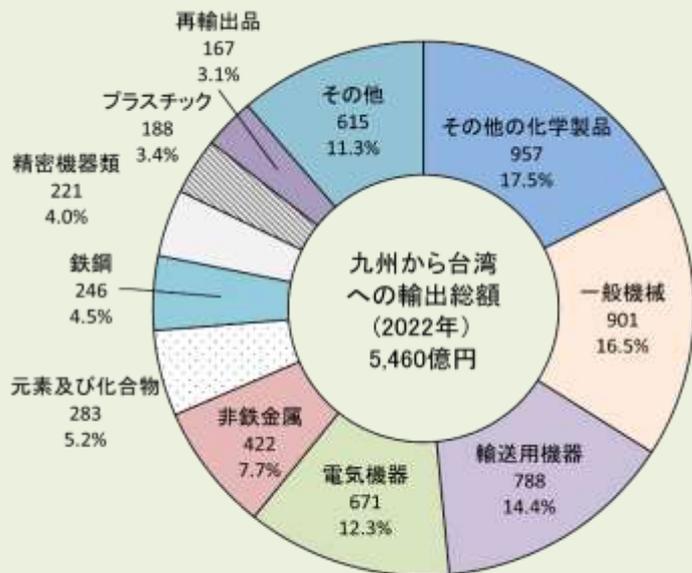
(単位: 億円、%)



九州・台湾の主要貿易品目

【輸出品目上位】自動車、半導体等製造装置、半導体等電子部品

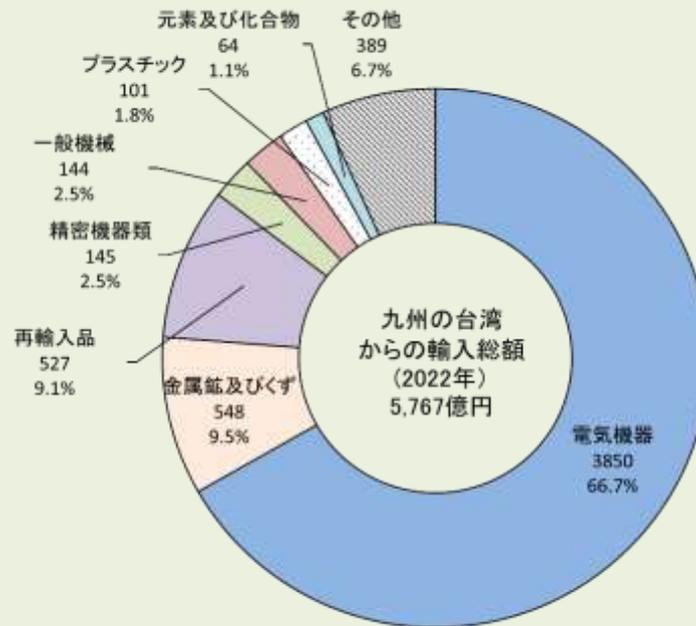
九州から台湾への輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	732	13.4%	12.9%	25.1%
半導体等製造装置	一般機械	644	11.8%	122.8%	6.8%
半導体等電子部品	電気機器	492	9.0%	39.3%	4.1%
銅及び同合金	非鉄金属	385	7.1%	7.5%	15.7%
科学光学機器	精密機器類	221	4.0%	▲45.5%	10.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	194	3.6%	22.0%	20.2%
有機化合物	元素及び化合物	194	3.6%	34.7%	9.0%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	96	1.8%	45.4%	26.0%
無機化合物	元素及び化合物	88	1.6%	4.8%	9.2%
電気計測機器	電気機器	62	1.1%	▲37.8%	4.3%
その他		2,352	43.1%	—	6.9%
総額		5,460	100.0%	20.2%	8.0%

【輸入品目上位】半導体等電子部品、非鉄金属鉱、科学光学機器

九州の台湾からの輸入品目

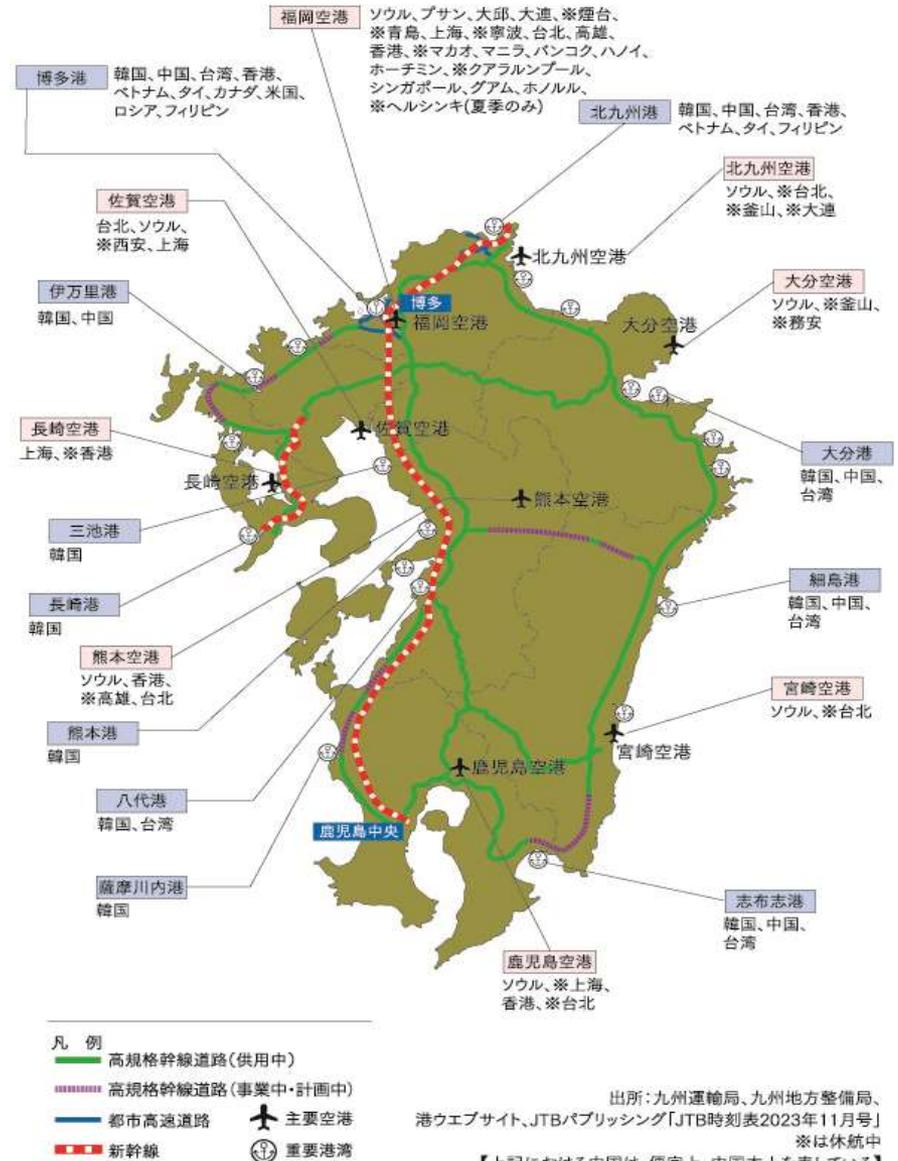


主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	3,736	64.8%	62.3%	14.9%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	405	7.0%	134.1%	85.4%
科学光学機器	精密機器類	145	2.5%	33.0%	15.7%
非鉄金属くず	金属鉱及びびくず	122	2.1%	24.4%	37.4%
事務用機器	一般機械	67	1.2%	109.3%	4.6%
有機化合物	元素及び化合物	44	0.8%	▲51.2%	7.1%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	27	0.5%	50.0%	13.7%
プラスチック製品	その他の雑製品	24	0.4%	20.0%	5.8%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	20	0.3%	33.3%	5.7%
無機化合物	元素及び化合物	16	0.3%	45.4%	2.5%
その他		1,160	20.1%	—	5.6%
総額		5,767	100.0%	53.5%	11.3%

充実した交通インフラ

九州の高速道路／新幹線／国際コンテナ航路(2023年11月現在)

- ◆九州各県には、高速道路、新幹線、鉄道、空港、港湾等の各種交通インフラが整備されています。
- ◆九州新幹線により、博多駅から鹿児島中央駅まで、九州の南北を約1時間20分で縦断できます。
- ◆2015年4月に東九州自動車道が全線開通し、九州の高速道路がループ状につながりました。自動車による九州内のスムーズな移動が可能となり、各地をつなぐ交通ネットワークの役割を果たしています。
- ◆空港や港湾からは、アジアを中心とした海外へも交通体系も整っています。特に、アジアの主要都市とのアクセスの良さが九州の特徴です。



九州の特徴的な産業

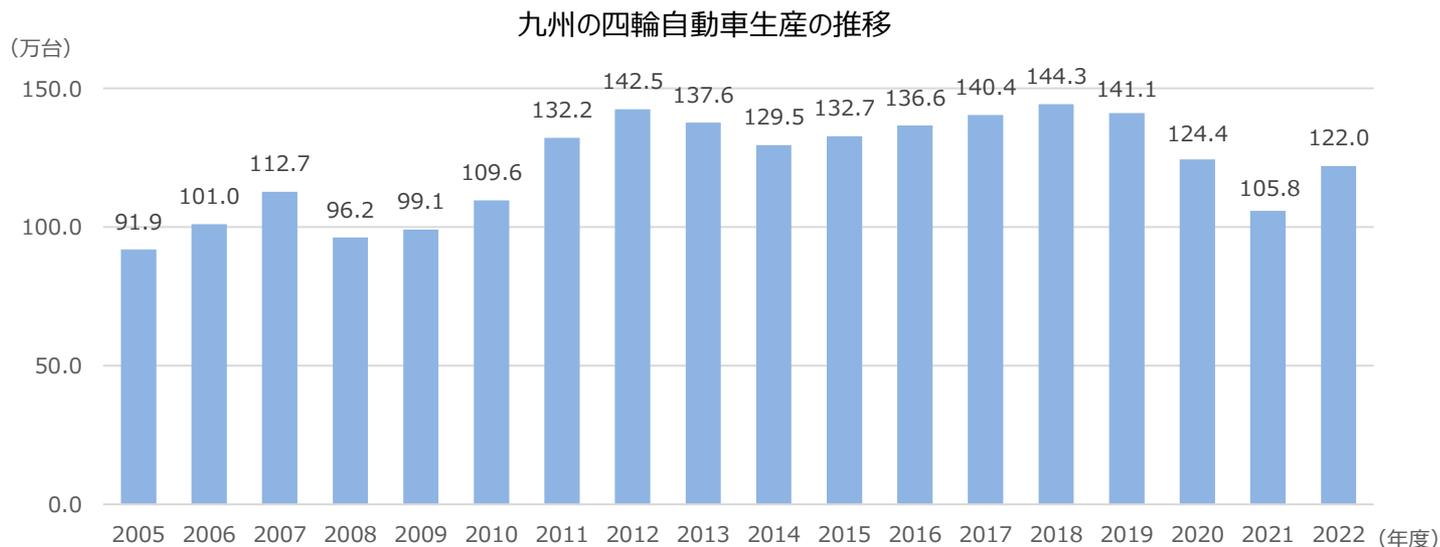
～日本有数の自動車生産拠点～

- ◆ 九州には、完成車メーカー4社が立地、約154万台/年の自動車生産能力を持ち、生産台数の全国シェアは約15%を占めるなど、世界有数の生産拠点到成長しています。
- ◆ 自動車部品の製造・加工等を担う関連企業の集積が進み、1,200社を超える関連企業が、九州全体に裾野を広げています。
- ◆ 九州の四輪自動車生産台数は、半導体をはじめとした部品供給不足の影響を受けて、2019年度以降、3年連続で減少しましたが、2022年度は122万台(前年度比15.2%)と増加しました。



写真提供:トヨタ自動車(株)

〔主な企業例：トヨタ自動車九州(株)、日産自動車九州(株)、(株)日産車体九州、ダイハツ九州(株)など〕



九州の特徴的な産業

～産業用先端半導体の世界拠点を目指して～

- ◆ 九州は、1967年より、大手電機系メーカーが相次ぎ進出し、地場サプライヤーの育成に取り組んだことで「シリコンアイランド九州」が形成されました。今日では約1,000社・事業所が集積しており、集積回路(IC)の生産金額は、日本の約49%のシェアを占めています。(2022年度)
- ◆ 九州地域には、CMOSイメージセンサー、車載用マイコン、製造装置等で世界有数のシェアを誇る大手企業や、それらの企業を支える多数の中小企業が集積し、多様な半導体を生産しています。
- ◆ 2022年度は、世界的な半導体需要の高まりにより高水準での生産が続き、IC生産金額は15年ぶりに9,000億円を超え、半導体製造装置生産金額は過去最高の5,137億円となっています。

〔主な企業例：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、ルネサスエレクトロニクス(株) 三菱電機(株)パワーデバイス製作所 東京エレクトロン九州(株)、荏原製作所(株) など〕

(参考) (一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会(SIIQ)

SIIQは九州地域における半導体・エレクトロニクス産業に携わる産学官の関係者のプラットフォーム機関として、半導体・エレクトロニクス関連産業技術に関するプロジェクトの発掘・育成・支援や、産業界と大学との連携・交流事業を行っています。(<https://siiq.jp/k01.html>)



九州の特徴的な産業

～環境リサイクル、再生可能エネルギー関連企業の集積～



〔清本鉄工(株)食品残渣リサイクルプラント〕

- ◆ 九州では、公害克服の経験を通じて、リサイクル、土壌・水質浄化等の環境リサイクル産業が集積しています。アジアを中心として、環境技術の海外展開等も増加しています。
- ◆ また、九州は太陽光や地熱等、豊富な再生可能エネルギー資源を有し、エネルギー分野においても先導的な地域になっています。
- ◆ さらに近年では企業、自治体等が連携してカーボンニュートラルに向けた取組を推進しています。

〔主な企業例：(株)ワイビーエム、清本鉄工(株)、協和機電工業(株)など〕

(参考) 九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)

K-RIPは九州の環境エネルギー関連産業の育成・振興のために、特に中小企業の環境関連ビジネス支援を目的とした産学官のネットワーク組織です。会員企業のビジネスニーズに応じたマッチング支援や、会員同士の交流会によるビジネスパートナーの発掘支援、ASEAN等への海外展開支援などを行っています。

<https://k-rip.gr.jp/>



【取組事例】 グリーンエネルギーポートひびき事業(北九州市)

- ◆ 北九州市は、2011年から若松区響灘地区において、風力発電などのエネルギー関連産業の集積を目指す取組を進めています。
- ◆ 4つの拠点機能(積出・建設拠点、物流拠点、O&M拠点、製造産業拠点)を備えた総合拠点の形成を目指しています。

九州の特徴的な産業

～ヘルスケア・バイオ・コスメ関連産業の集積～

- ◆ ヘルスケア分野については、大分県から宮崎県に広がる東九州メディカルバレー構想特区を中心に、産学官が連携し、新たな医療機器等の開発・事業化に向けた取組が推進されています。
- ◆ バイオ分野については、みそ・しょうゆ・焼酎等の伝統的な発酵産業に加え、健康食品産業などのバイオ関連の企業・大学・研究機関が集積しています。
- ◆ コスメ分野については、佐賀県唐津市・玄海町で、海外との連携協力により化粧品関連産業の集積を目指す「唐津コスメティック構想」の推進に取り組んでいます。



〔主な企業例（医療機器関連）：旭化成メディカル（株）、東郷メディキット（株）など〕

（参考）九州ヘルスケア産業推進協議会 (HAMIQ)

HAMIQは『健康寿命』が延伸する社会の構築を実現するため、ヘルスケアに関する様々なステークホルダーを巻き込み連携していく場として設立され、健康寿命を支える医療・福祉機器及び医療・健康サービスの産業創出を目指して、普及啓発、顕彰事業、マッチング事業、機器開発の支援など様々な事業を展開しています。

<https://hamiq.koic.or.jp/>

（参考）九州地域バイオクラスター推進協議会

当協議会は、予防医学・サービス産業と連携した機能性食品・健康食品の提供による安全・安心な「フーズ健康アイランド九州」の構築を実現することを目的に設立され、クラスターマネージャーを中心に地域の産学官等ネットワークの形成や、新たな事業の創出に向けた技術的・人的なサポートなど広範な支援を行っています。

<http://kyushu-bio.jp/>



J-Startup KYUSHU

- 九州経済産業局では、九州で活躍するスタートアップ企業群から、「地域に愛着を持ちつつ、今後の飛躍・成長を通じて九州・日本・世界の次の時代を切り拓く可能性を有する」企業を、「J-Startup KYUSHU」企業として**48社**を選定しました。（企業は外部専門家38名からの推薦により選定）
- J-Startup KYUSHUについては、管内の7県3政令市や財務局、経済界とともにコンソーシアムを構築し、九州ワイドでの取組を推進しています。



世界最先端を誇る大学の研究施設

革新的宇宙利用実証ラボラトリー
超小型衛星試験センター
国立大学法人九州工業大学



- ◆ 超小型衛星試験センターでは、50kg・50cmまでのサイズの衛星の環境試験に特化した設備を揃え、国内外の大学・企業が開発した衛星の環境試験を行っています。
- ◆ また、そのデータを基に超小型衛星試験の国際標準化の取り組みを世界各国と連携して進めています。



熱真空試験装置



人工衛星の振動試験装置

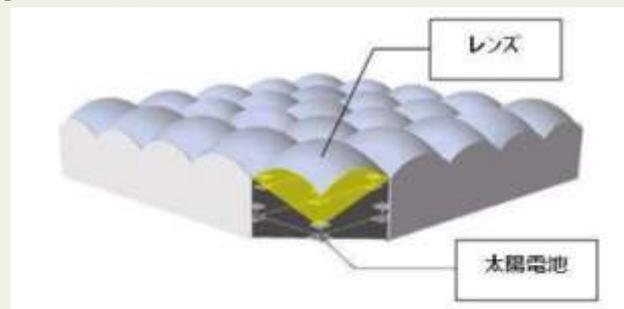


衝撃試験装置

宮崎大学エコ・キャンパス
国立大学法人宮崎大学



- ◆ エコ・キャンパスでは、大きなレンズで集光した太陽光を小さな太陽電池に照射する「集光型太陽光発電」の研究と、集光型太陽光発電から得られる電気で水を電気分解することによって水素を生成する研究を行っています。



集光型太陽電池のイメージ



太陽光を追尾するシステム



エコ・キャンパス

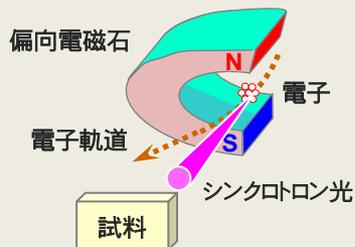
世界最先端を誇る研究機関

佐賀県立九州シンクロtron光研究センター (SAGA-LS)



- ◆ シンクロtron光(強力なX線)を産学官の共用に供し、素材・原料、電子デバイス等の分析や製品評価、微細加工等の部品試作、農作物の突然変異育種等、幅広い分野の研究開発に利用される最先端の研究施設です。

シンクロtron光は、光速に近い速さで直進する電子が、加速器を構成する偏向電磁石の磁場でその軌道を曲げられた時に発生する「光」のことです。



シンクロtron光を露光光源とし、微細加工めっき技術によりマイクロメートルサイズのマイクロマシン・MEMS関連部品の製作が可能です(右図は微小歯車の製作方法)。



出典:九州シンクロtron光研究センター

水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)



- ◆ 水素ガス環境下で使用する「バルブ」、「センサ」、中型・大型の水素貯蔵容器まで、あらゆる水素関連製品の耐久性試験、圧力サイクル試験や民間企業との共同研究開発等を通して、水素エネルギー新産業の育成を支援する最先端の研究施設です。

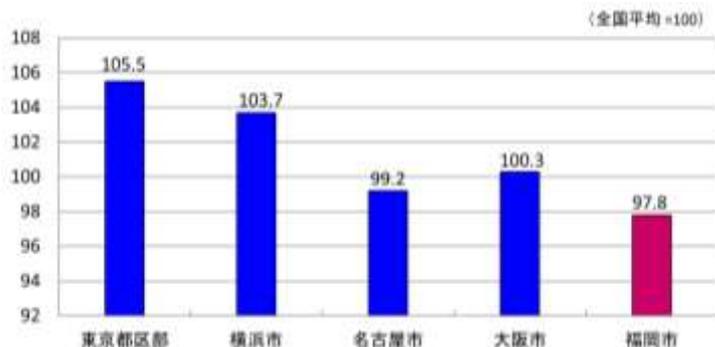


出典:水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)

整ったビジネス環境と豊富な人材

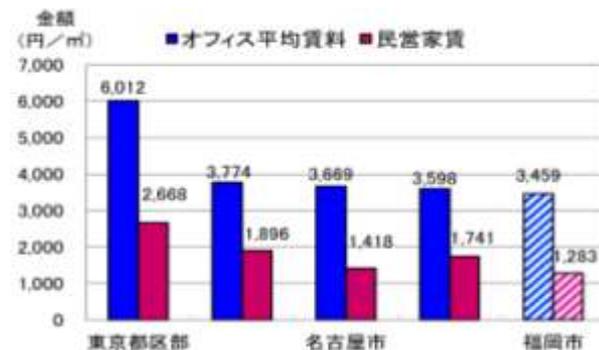
- ◆ 九州は、日本の中でも物価・オフィス賃料などが安く、コストを低く抑えてのビジネスが可能な環境です。加えて、温暖な気候や美味しい食事、土地の広さ、人柄の良さなどの面で暮らしやすいとされています。
- ◆ また、九州にはアジアを中心とした各国・地域から約2.5万人の外国人留学生在が在席する等、多様で優秀な人材が豊富な地域です。

九州と主要都市との消費者物価地域差指数(2022年)



出所：総務省統計局「小売物価統計調査」

主要都市のオフィスと住居賃料(2022年)

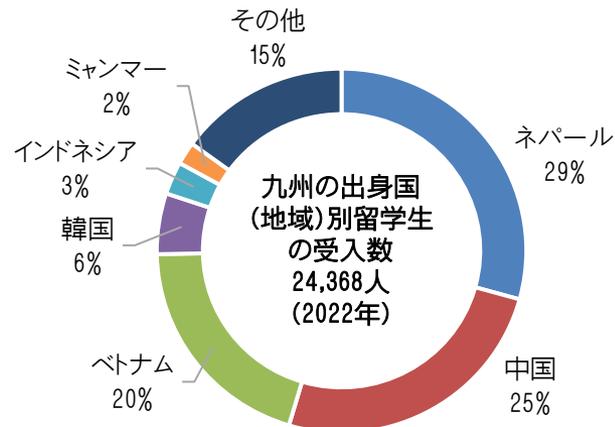


出所：三鬼商事㈱「オフィスマーケットデータ」、総務省「小売物価統計調査」より九州経済産業局作成

労働者平均所得内給与額(2021年)



出所：厚生労働省 賃金福祉統計室「賃金構造基本統計調査」(2021年)」



出所：(独)日本学生支援機構「2022(令和4)年度外国人留学生在籍状況調査結果」より九州経済産業局作成

教育・医療環境

- ◆ 九州には、外国人材のあらゆる年齢の子どもの教育環境も整備されています。日本内外の大学入学資格を取得できる学校として、福岡県には米国西部地域私立学校大学協会(WASC)※1の認定を受けているインターナショナルスクールがあります(福岡インターナショナルスクール(FIS))。また、国際バカロレアディプロマプログラム(IB DP)※2を提供している学校として、FISに加えて、リンデンホールスクール、福岡第一高等学校、熊本インターナショナルスクール(KIS)小学部・幼児部があります。

※1 WASC(The Western Association of Schools and Colleges):世界的な大学入学資格(高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者)の教育認定機関

※2 国際バカロレア(International Baccalaureate):世界150以上の国・地域の5,000校以上で実施されている、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラム

注) 我が国の高校等を卒業した方以外の方であっても、国際的な認証団体(WASC等)から認証を受けたインターナショナルスクールや、国際バカロレア資格を取得できる学校で一定の課程を修了すれば、日本内外の大学入学資格を取得できます。

- ◆ 医療環境については、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」が取りまとめられ、九州でも外国人患者が安心して受診できる体制の整備を進めているところです。九州には173の外国人患者を受け入れる医療機関が存在し、不測の事態に備えています。

九州管内各県別の多言語対応医療機関数 ; 福岡41、佐賀5、長崎17、熊本35、大分14、宮崎9、鹿児島52

※英語、中国語、韓国語を中心に、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語など多種



豊かな食・郷土料理

- ◆ 九州は、農業産出額が全国の約2割を占める食糧供給基地です。その構成は、畜産、野菜、米、果樹が中心で、多様な品目構成となっています。最も産出額が大きいのは畜産部門で、全国シェアの25%を占めます。
- ◆ 食品の輸出も盛んで、九州各地のブランド牛や、ブリやハマチなどの水産物、野菜や果実は海外で人気。また、緑茶の輸出量も増加しています。
- ◆ 九州の肉や魚、野菜や果物などは種類が豊富な上、新鮮で質も高く、「九州の食べ物は安くて美味しい」と国内外の観光客からも好評です。また、焼酎や日本酒などお酒の生産地としても有名です。



ラーメン(福岡県)



呼子のイカ(佐賀県)



卓袱料理(長崎県)



車えび(熊本県)



関さば・関あじ(大分県)



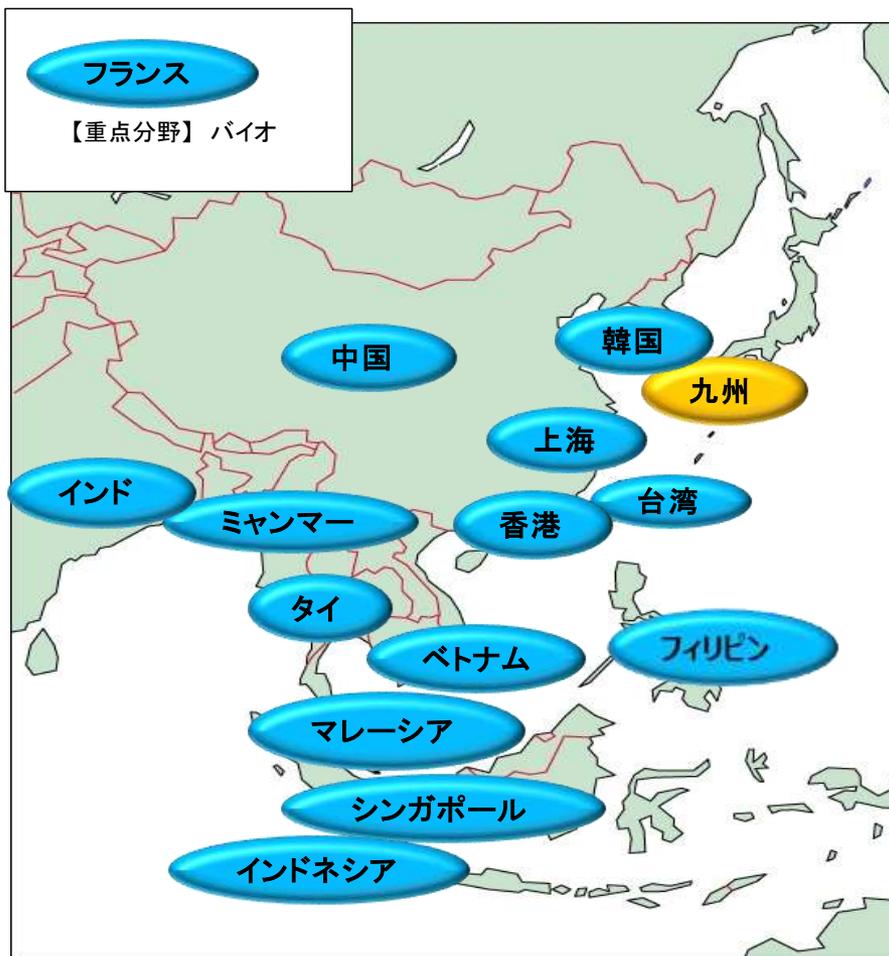
宮崎牛(宮崎県)



黒豚しゃぶしゃぶ(鹿児島県)

アジア諸国とのMOU署名を基盤とした経済交流

- ◆ 九州では、(一社)九州経済連合会と九州経済産業局が事務局を務める九州経済国際化推進機構を組織し、経済団体、地方公共団体、民間企業等が一体となって、アジアをはじめとした諸外国との経済交流に取り組んでいます。
- ◆ 特にアジア諸国とは、経済交流促進のためのMOUを署名、これを契機として相互のミッション派遣や商談会などビジネスにつながる取り組みを推進しています。



国・地域	相手側	時期	九州側
ベトナム	・ベトナム計画投資省 (MPI)	2009年 2月	機 構
香 港	・香港中華総商會 (CGCC) ・香港貿易発展局 (HKTC)	2011年 11月 2012年 8月	九経連
台 湾	・中華民国工商協進会 (CNAIC)	2012年 6月	九経連
インドネシア*	・インドネシア共和国投資調整庁 (BKPM)	2012年 11月	機 構
タイ	・タイ投資委員会 (BOI)	2012年 11月	機 構
ミャンマー	・ミャンマー商工会議所連盟 (UMFCCI)	2013年 2月	九経連
シンガポール	・シンガポールビジネス連盟 (SBF)	2013年 7月	九経連
インド	・インド商工会議所連合会 (FICCI)	2014年 6月	九経連
中 国	・上海新滬商連合会 (SEA) ・山東省商務庁(DCSP)★ ・山東省威海市人民政府 (WMPG)★ ・中国国際貿易促進委員会大連市分会	2014年 9月 2018年 6月 2018年 6月 2023年 10月	九経連
マレーシア	・マレーシア投資開発庁(MIDA)	2015年 11月	機 構
フィリピン	・フィリピン共和国投資委員会 (BOT)	2019年 7月	機 構

★食品流通での相互協力に特化したMOU (九経連の窓口は地域共創部)
 *インドネシア商工会議所(KADIN)については、2012年11月締結時に定めた3年間の有効期限が満了

国・地域	相手側	時期	九州側
韓国	・韓国産業団地公団	2007年11月	九州地域環境・物産産業交流アジ*
中国	・大連市政府 ・山東省政府	2009年2月 2010年7月	九州地域環境・物産産業交流アジ*
マレーシア	・マカガグリーンテクノロジコーポレーション (MGTC) ・イスカンダル・マレーシア商工会議所 ・マレーシア廃棄物管理協会	2013年10月 2016年8月 2017年3月	九州地域環境・物産産業交流アジ* (現・九州環境工研*・産業推進機構)
フランス	・FC2イノベーションフーズクラスター (FC2) ・ブループランクル協会 (BBC)	2010年9月 2013年10月	九州地域バイオクラスター推進協議会
ベトナム	・ホーチン半導体協会 (HSIA)	2013年11月	九州半導体・IT/IC/デバイス協議会
台湾	・經濟部工業局智慧電子産業計画推動弁公室 (SIPO)	2019年5月	九州半導体・IT/IC/デバイス協議会



経済産業省
九州経済産業局

Kyushu Bureau of Economy, Trade and Industry

HP URL <https://www.kyushu.meti.go.jp/>



国際部 投資交流促進課

〒812-8546

福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館7F

TEL 092-482-5426